

# 第28回 都島メディカル・カンファレンス

日時：令和元年9月28日（土） 午後3時～5時

会場：大阪市立総合医療センター 3階さくらホール

対象：医療従事者

本会は、医師会と大阪市立総合医療センターが近隣の診療所・病院勤務医師の先生方や多職種の方々と、症例検討を中心にカンファレンスを行っています。

このカンファレンスを通じて診療レベルが向上し、相互の親睦も深まり、医療連携が促進されることで患者さんへより良質の医療を提供する一助となる事を目的としています。

## 症例

◆「クリニックDr.の迅速な対応により救命し得た

重症熱帯感染症の一例」

感染症内科 森田 諒

◆「生物学的製剤投与下の感染症」

総合診療科 山上 啓子

## 特別講演 「海外渡航後の発熱・下痢患者の診かた」

感染症内科 白野 倫徳



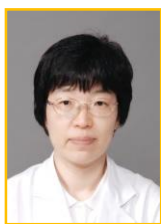
感染症内科医長  
白野 倫徳

仕事やレジャーで海外に出かける日本人の数は年々増加し、インバウンドの増加や、ラグビーワールドカップ、東京オリンピック・パラリンピック、大阪万博など大規模な国際イベントも控え、海外からの訪日者数もますます増加すると見込まれます。そんな中、海外渡航後や来日されたばかりの発熱・下痢患者さんが受診されるケースも増えるかと予想されます。海外渡航後であっても診療の原則は変わりませんが、通常の間診に少し追加するだけで、鑑別診断も変わり、適切なマネジメントが可能となります。本講演では、自験例を交えて海外渡航後の発熱・下痢患者の診かたのポイントを解説させていただきます。



総合診療科部長  
後藤 仁志

今回のテーマは感染症です。近年は免疫抑制性の薬剤が広く自己免疫疾患や自己炎症疾患にも使用されるようになり感染症が予後決定因子としてますます重要になりました。さらに薬剤により宿主の反応性が変化し感染症の症状が修飾され見逃され重症化してしまう症例にしばしば遭遇します。当科からは生物学的製剤使用中に感染症を来した症例を提示し、今後増加してくるこのような症例にどのように対応していくのか考察いたします。特別講演では感染症内科の白野先生から感染症についての知識をアップデートしていただきます。今回も実臨床にすぐに役立つ内容と考えておりますので皆様ふるってご参加いただければ幸いです。



初期急病診療部部長  
山田 明子

当科は当院通院中の患者さんや地域医療機関からの紹介患者さんを中心とした成人内科系の緊急診療を行っています。診察につきましては、緊急専用電話（平日8時45分から20時まで）をご利用いただければ、スタッフが直接対応させていただきますので今後ともよろしくご厚意申し上げます。今回のテーマは感染症で、今後の日常診療において少しでもお役に立てれば幸いです。

申込書・案内図は裏面をご覧ください。

# 第28回都島メディカル・カンファレンス（MMC）FAX申込書

## 大阪市立総合医療センター地域医療連携センター

### 申込FAX番号 06-6929-0886

お手数ですが、枠内にご記入の上、FAXにてご送信ください。ご参加いただける方のお名前の記載をお願いします。

なお、誠に勝手ではございますが、**9月21日（土）**までにご返信ください。

<b>参加者氏名</b>	
①	職種
②	職種
③	職種
④	職種
<b>施設名</b>	
<b>施設所在地等</b>	<b>住所</b>
	<b>TEL</b>

#### 【案内図】



大阪市立総合医療センター 3階 さくらホール  
 大阪市都島区都島本通2-13-22

最寄り駅

- 大阪メトロ（谷町線）都島駅 2番出口から西へ徒歩3分
- JR西日本（大阪環状線）桜ノ宮駅 東出口から北へ徒歩7分

#### 【事務局】

総合診療科 後藤 仁志

初期急病診療部 山田 明子

お問合せ：地域医療連携センター 藤井・藤本

☎06-6929-3633（直通）